



[プライマネージ]
PRIMANAGE
CSS Open Package Series for Enterprise Resource Planning

Q どのメーカーのデータベースを選べばよいでしょうか？

A 下記を目安にお客様側でご検討ください。

データベース評価版をご利用になる場合

データベース評価版をご利用になる場合は、ご試用期間から考えてみましょう。

ソフトウェア部品体験版のご試用期間は3ヶ月です。

それに対しデータベース各社が提供する評価版のご試用期間は、IBM DB2は無期限、Microsoft SQL Serverは180日間、Oracleは30日間と異なります。

まず簡単にソフトウェア部品体験版を試したい場合なら、IBM DB2が良いでしょう。推奨データベースのうちインストールが最も簡単で、作業も短時間で済み、管理も容易という利点があります。もちろんMicrosoft SQL ServerやOracleも対応しておりますのでいずれも問題はありませんが、データベースインストール後、Microsoft SQL Serverはファイルコピーと保存の処理が、Oracleは設定処理が必要です。

各社データベースの機能比較を知るには、検索エンジンサイトなどで、(例)「Oracle DB2 比較」といったキーワードを使って調べることもできます。以上の情報を参考にご検討ください。

データベース製品版をご購入される場合

データベース製品版は、お客様側でご購入となります。データベースの何エディションが良いかはお客様側でご判断いただいております。事前にデータベース各社お問い合わせ窓口にて販売店や見積等の相談に応じてくれます。以下は参考情報です。

データベースの使用目的

ソフトウェア部品のデータベースサーバーです。

ライセンス

同時アクセス数を考えた使用 PC 分の約 1~1.5 倍程度のデータベースライセンスをご用意いただくと良いでしょう。

例えば、1 画面開く際、1 ライセンス取られます。1 人で他の画面を参照すると、最初に開いた画面はそのまま、さらに 1 画面開いた分、1 ライセンス取られますので、1 人で 2 ライセンス使用することになります。このような状況も想定して実際のライセンス数より余裕のあるライセンスをご用意いただくと動作がスムーズになります。

データベースの容量について

業務処理を行うに伴いデータ量は増大し続けます。ソフトウェア部品では、データベースの作成を行う際、自動拡張に設定しています。通常はディスク容量まで拡張します。日常の領域管理は、データベースを配置しているディスクの空き容量をチェックします。空き領域がなくなった場合は、ディスクを追加するか、空いているディスク(OS がインストールされているディスクは避けてください)にデータベースを作成します。

データベースのエディションを選ぶ目安

エディションの違いは、機能だけでなくサポートするサーバーPC の CPU や RAM など異なります。ご利用のサーバーPC の環境に合わせたものをお選びください。

参考 URL:

IBM DB2 V9.5: db2v95.pdf (PDF ファイル 4.45MB)

Microsoft SQL Server 2005:

<http://www.microsoft.com/japan/sql/prodinfo/features/compare-features.msp>

Oracle: <http://japan.zdnet.com/news/db/story/0,2000056180,20086869,00.htm>

注意事項

人事給与管理をご利用される場合、IBM DB2 と Microsoft SQL Server は人事情報が暗号化されますが、Oracle のみ弊社の人事プログラムに組み込まれている暗号化機能を Oracle が制御し、機能しないようブロックをかけてしまいます。Oracle で人事情報を暗号化をしたい場合は、お客様側で Oracle 側に暗号化のオプションをつけたいとご依頼されるか、他社の暗号化ソフトを利用することで対応していただいております。

まとめ

その他、弊社が推奨するシステム要件を満たしていればどのエディションでも問題ありません。最終的には、PC 環境、企業のニーズ、ご担当者様の管理しやすいデータベースをお選びいただくことをおすすめします。下記はあくまで目安です。

Microsoft SQL Server 使用人数:	10 名程
IBM DB2 使用人数:	10～50 名程
Oracle 使用人数:	50 名以上